

The 12th Annual Meeting of the American Philosophy Forum of Japan

第 1 日目：SEPTEMBER 27, 2025 14:20-17:30

会場：京都大学吉田キャンパス 国際科学イノベーション棟シンポジウムホール (Symposium Hall, International Science and Innovation Building, Yoshida Campus, Kyoto University)

14:20-17:30	〈開催校特別企画〉 Emersonian perfectionism and the tragic sense II
14:20-14:30	Introduction 齋藤直子 (京都大学) 高柳充利 (信州大学)
14:30-15:15	Keynote (I) Yu Sakudo (Film Director/Scriptwriter) 作道雄 (映画監督/脚本家) “How to forget you?” 『君の忘れ方』
15:15-15:45	質疑応答 Discussion Chair and Discussant: TBA
15:45-16:15	休憩 Break
16:15-17:00	Keynote (II) Paul Standish (University College of London Institute of Education) “The Unforgettable and the Immemorial” (Online/オンライン)
17:00-17:30	質疑応答 Discussion Chair and Discussant: 齋藤直子 (京都大学) 高柳充利 (信州大学)
18:00-20:00	懇親会 Dinner 会場：京都大学生協 カフェレストラン「カンフォーラ」

第 2 日目：SEPTEMBER 28, 2025 8:50-17:40

会場：教育学部第一・第二講義室

(Lecture Room 1 and Lecture Room 2, Faculty of Education)

	一般セッション (I) (会場：教育学部第一講義室) 司会者：TBA	一般セッション (II) (会場：教育学部第二講義室) 司会者：TBA
8:50-9:30	発表 1 入江 哲朗 (東京外国語大学) 「化体 (transubstantiation) をめぐるふたつのプラグマティズムーチャールズ・サンダーズ・パースとウィリアム・ジェイムズの比較」	
9:30-10:10	発表 2 山根秀介 (横浜国立大学教育学部) 「初期ウィリアム・ジェイムズとフランス」	発表 4 木本蒼 (京都大学大学院 人間・環境学研究科) 「カヴェルの『理性の呼び声』における『哲学探究』解釈について」
10:10-10:50	発表 3 大厩 諒 (中央大学文学部) 「純粹経験とは何かージェイムズ「意識」は存在するか」再読一」	発表 5 笹倉暢之 (慶應義塾大学) 「孤立言語の問いに対するカヴェルの応答」
10:50-11:00	休憩 Break	

11:00-12:20	一般セッション（Ⅲ） （会場：教育学部第一講義室） 司会者：TBA	一般セッション（Ⅳ） （会場：教育学部第二講義室） 司会者：高柳充利（信州大学）
11:00-11:40	発表 6 山田大生（学習院大学文学部哲学科非常勤講師） 「田中王堂におけるデューイ哲学の継承と展開」	発表 8 太期勇斗 「スタンリー・カヴェルにおける二つの懐疑論の対比をめぐって」
11:40-12:20	発表 7 久保健太（京都大学大学院人間・環境学研究科 D1） 「環境プラグマティズムとヨナス—新しい環境倫理学の構築に向けて」	発表 9 井川雄一郎（京都大学教育学研究科修士課程臨床教育学コース 1 回） 「分断」が叫ばれる時代における利他教育とは—カベルとレヴィナスにおける懐疑主義と他性を踏まえて—
12:20-13:10	昼休憩 Lunch Break	
13:10-13:40	総会 Business meeting for the American Philosophy Forum （会場：教育学部第一講義室）	
13:40-15:40	一般セッション（Ⅴ） （会場：教育学部第一講義室） 司会者：TBA	一般セッション（Ⅵ） （会場：教育学部第二講義室） 司会者：TBA
13:40-14:20	発表 10 青木 崇（学習院大学） 「ボキャブラリーと「理性の公共的使用」-いくつもの言語論的転回におけるローティの位置づけ」	発表 13 YAN SHUNING（京都大学教育学研究科） “Hippie’s “Aspiration” and a Critical Examination of Emerson’s Concept of “Aversive Thinking””

14:20-15:00	発表 11 中村 陽太（東京大学大学院総合文化研究科博士課程／日本学術振興会特別研究員 DC1） 「根源的実在論と超越論的心理学—真にプラグマティックなカント読解」	発表 14 佐藤 邦政（茨城大学） 「ナラティブの証言は何を伝えうるのか：「どのようなことか」のスタンドポイント的な問答的知識」
15:00-15:40	発表 12 RODIS Fotios (PhD and postdoctoral researcher in Philosophy, Kobe University) “Coloring reality under the specter of social imaginary: The epistemological argument contra pragmatism”	発表 15 矢端崇（国際基督教大学大学院 博士後期課程所属） 「恐怖のリベラリズムの見落とされてきた要素：ジュディス・シュクラーの民主主義的エートス論」
15:40-15:50	休憩 Break	
15:50-17:35	自主企画パネル (I) （会場：教育学部第一講義室） 佐古仁志（東京交通短期大学）・谷島貫太（二松学舎大学）・野澤俊介（北海道大学）・加藤隆文（大阪成蹊大学） 「パースの指標概念の現代的応用～生態心理学、メディア論、人類学の観点から」	自主企画パネル (II) （会場：教育学部第二講義室） 朱喜哲（大阪大学 社会技術共創研究センター）・白川晋太郎（福井大学 教育・人文社会系部門教員養成領域社会系教育講座）・得能想平（奈良先端科学技術大学院大学 デジタルグリーンイノベーションセンター）・西川耕平（国際医療福祉大学 成田キャンパス） 「〈ドゥルージアン・プラグマティズム〉の可能性：すれ違いから創造的接続へ」
17:35-17:40	閉会の辞 齋藤直子（京都大学） 会場：教育学部第一講義室	